



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

SNS で深刻化するグルーミング 調査から見た児童の性被害の実態と背景

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：川原俊明)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

人気の記事 \よく読まれている記事！/

1 2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
42633Views
OTEMON VIEW編集部

2 2021.03.05 社会とくらし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
29502Views
OTEMON VIEW編集部

3 2020.08.24 ところどころ
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」に考える薬害被害について
18412Views
OTEMON VIEW編集部

4 2020.08.03 ところどころ
「シン・エヴァンゲリオン劇場版」公開へ。精神科医研究者が考察！エヴァは悩める若者の象徴か！？
17898Views

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

SNS を通じて未成年者が性被害にあう事件が増加しています。最近では、わいせつな目的を隠し、親切を装って未成年者を手なづける「グルーミング」という卑劣な手法も広がりつつあり、刑法の性犯罪規定の見直しも検討されています。

今回は、犯罪被害者や子どもの性犯罪被害の支援、トラウマなどを研究する心理学部の櫻井 鼓准教授が行った「SNS を介した子どもの性被害の実態」調査の結果とあわせて、近年の児童の性被害の実態に迫ります。

(以下は主なポイント)

SNS を悪用した子どもの性被害は高止まり傾向。しかし認知件数は氷山の一角！？

○児童ポルノ、児童買春、自画撮り画像送信……子どもの性被害の現状

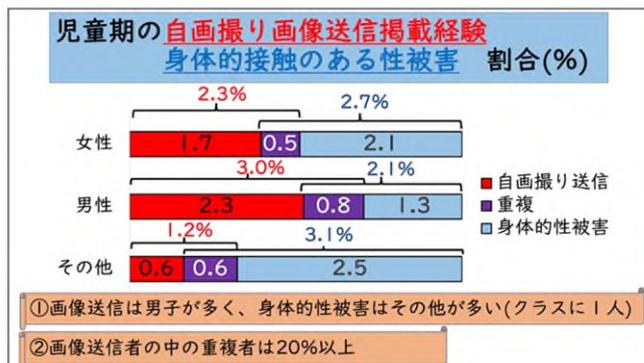
SNS 起因の自画撮り被害と性被害経験、その実態を調査

○クラスに1人は被害者、身体的な性被害の入口に
○自画撮り被害に至る要因、児童の「孤独感」

子どもの性被害を防ぐには？

○教育現場で必要な性被害者ケア&支援の体制づくり

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/2748/>



櫻井 鼓准教授「性犯罪・性暴力被害の実態と課題
～ネットを介した性被害調査～」に関する報告資料より

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 谷ノ内・仲西